

鹿児島県本土から得られたウツボ科 シマアラシウツボ *Echidna polyzona* の記録

田代郷国¹・本村浩之²

¹ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館（水産学研究所）

² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

ウナギ目ウツボ科 (Anguilliformes: Muraenidae) はキカイウツボ亜科とウツボ亜科の2亜科からなり、世界で15属197種が報告されている (Smith, 2012)。そのうち、ウツボ亜科アラシウツボ属 *Echidna* は世界で11有効種が認められており、日本からはクモウツボ *E. nebulosa* (Ahl, 1789)、シマアラシウツボ *E. polyzona* (Richardson, 1845)、ナミダカワウツボ *E. rhodochilus* (Bleeker, 1863) の3種が知られている (波戸岡, 2013a)。

Echidna polyzona はインド・太平洋域から知られており、日本国内では小笠原諸島、伊豆諸島、高知県、大隅諸島、琉球列島から報告されている。

2010年2月18日に鹿児島県南さつま市坊津町久志丸木浜から、*Echidna polyzona* と同定される1標本が採集された。この標本は本種の鹿児島県本土からの初めての記録となるため、ここに報告する。

材料と方法

計数・計測方法は Böhlke and Randall (2000) に従った。計測はデジタルノギスを用いて0.1 mm まで行い、計測値は全長または頭長に対する百分率で示した。脊椎骨数は軟X線写真を用いて計

数した。標本の作製、登録、撮影、固定方法は本村 (2009) に準拠した。本報告に用いた標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM: Kagoshima University Museum) に保管されており、体色の記載に用いた生鮮時のカラー写真は同館の画像データベースに登録されている。

結果と考察

Echidna polyzona (Richardson, 1845)

シマアラシウツボ (Fig. 1)

標本 KAUM-I. 26513, 全長172.8 mm, 鹿児島県南さつま市坊津町久志丸木浜タイドプール (31°17'22"N, 130°12'45"E), 水深0.5 m, 2010年2月18日, 手網, 岩坪洗樹。

記載 体各部位の全長に対する割合は、肛門前長44.2%、頭長14.8%、鰓孔開孔部における体高5.9%、肛門における体高4.3%、背鰭前長70.0%。体各部位の頭長に対する割合は、上顎長29.3%、吻長15.5%、眼径10.9%、両眼間隔11.9%。全脊椎骨数120、背鰭前方脊椎骨数5、腹椎骨数47、尾椎骨数73。

体は延長し、側扁する。背鰭基部は、鰓孔より前方にある。臀鰭起部は肛門の直後に位置し、肛門は体の中央よりやや前方にある。前鼻孔は管状で短く、吻端近くに位置する。後鼻孔は眼の上縁直上に開孔する。上顎は下顎よりわずかに突出し、口は完全に閉じられる。歯は白歯状で、鈍い。鋤骨の歯列長は主上顎骨の歯列長より長く、鋤骨歯は主上顎骨歯より大きい。頭部感覚管開孔部は

Tashiro, S. and H. Motomura. 2013. Record of *Echidna polyzona* (Anguilliformes: Muraenidae) from Bonotsu, Satsuma Peninsula, Kagoshima, southern Kyushu, Japan. *Nature of Kagoshima* 39: 19–21.

✉ HM: Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).



Fig. 1. Fresh specimen of *Echidna polyzona*. KAUM-I. 26513, 172.8 mm total length, Bonotsu, Satsuma Peninsula, Kagoshima, southern Kyushu, Japan.

明瞭。各部位の感覚管開孔数は、眼上管開孔数2、眼下管開孔数5、下顎管開孔数6。鰓孔の前方に位置する側線管開孔数は2。

色彩 体の地色は白色で、やや黄色がかる。頭部と体におよそ30本の不規則な太い暗褐色横帯が入り、体全体に縞模様を呈する。縞模様の暗褐色帯と白色域の幅の比率はおおよそ3対1。吻端と頭部および腹部下面は灰白色で、縞模様は不明瞭になる。前鼻孔は黄色。

分布 インド・太平洋域に広く分布する(Böhlke and Randall, 2000; Smith, 2012)。日本では伊豆諸島八丈島(Senou et al., 2002)、小笠原諸島南鳥島(Böhlke and Randall, 2000)、高知県柏島(Hirata et al., 1996)、鹿児島県坊津(本研究)、大隅諸島竹

島(波戸岡, 2013b)・屋久島(Motomura et al., 2010)、沖縄諸島伊江島(Senou et al., 2006)・慶良間諸島渡嘉敷島(Watai et al., 2009)などから報告されている。

備考 本標本は全脊椎骨数が120であること、歯が白歯状であること、体側に不規則な暗褐色横帯が入り、体全体に太い暗褐色横帯と細い白色域が交互に入る縞模様を呈することなどの特徴がBöhlke and Randall (2000)の記載によく一致し、*Echidna polyzona* (Richardson, 1845)に同定された。

シマアラシウツボの鹿児島県坊津からの採集記録は、鹿児島県本土における標本に基づく初めての記録である。

シマアラシウツボは成長にともない頭部およ

び体前半部の暗褐色横帯が不明瞭になり、褐色を帯びる。本種は大型になり、標本に基づく最大全長は 723 mm である (Böhlke and Randall, 2000)。鹿児島県坊津から得られた標本は体全体に明瞭な太い暗褐色横帯があること、全長が 172.8 mm であることなどから幼魚である。高知県柏島からは全長 700 mm (Hirata et al., 1996)、鹿児島県竹島からは 630 mm (波戸岡, 2013b) の大型個体が報告されていることから、鹿児島本土周辺海域においても成魚が生息していると思われる。

比較標本 シマアラシウツボ *Echidna polyzona*: KAUM-I. 11559, 全長 210.6 mm, 鹿児島県熊本郡屋久島町安房春田浜 (30°18'02"N, 130°39'17"E), 水深 0.5–2 m, 2008 年 8 月 14 日, 手網, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 37767, 全長 644.2 mm, 鹿児島県三島村竹島港 (30°48'59"N, 130°25'06"E), 水深 3–5 m, 2011 年 3 月 11 日, 手網, KAUM 魚類チーム。

謝辞

本報告をまとめるにあたり、標本採集にご協力下さった鹿児島県漁業組合連合会の岩坪洗樹氏、軟 X 線写真の撮影にご協力下さった鹿児島大学総合研究博物館の橋本達也氏に深く感謝の意を表す。また、標本作製や登録を手伝って下さった同大学総合研究博物館ボランティアの伊東正英氏、原口百合子女史、内村公大氏、大石一樹氏および同大学魚類分類学研究室の荻原豪太氏、松沼瑞樹氏、目黒昌利氏、吉田朋弘氏、西山肇氏、畑晴陵氏に厚くお礼申し上げる。本研究は、鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」と国立科学博物館の「黒潮プロジェクト (浅海性生物の時空間分布と巨大海流の関係を探る)」の一環として行われた。本研究の一部は JSPS 科研費 (19770067, 23580259, 24370041), JSPS アジア研究教育拠点事業「東南アジアにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワー

ク構築」、JSPS 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム「熱帯域における生物資源の多様性保全のための国際教育プログラム」、総合地球環境学研究所「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティの向上プロジェクト」の援助を受けた。

引用文献

- Böhlke, E. B. and J. E. Randall. 2000. A review of the moray eels (Anguilliformes [sic]: Muraenidae) of the Hawaiian Islands, with descriptions of two new species. *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, 150: 203–278.
- 波戸岡清峰. 2013a. ウツボ科. Pp. 244–268, 1786–1792. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野市.
- 波戸岡清峰. 2013b. ウツボ科. Pp. 7–13. 本村浩之・出羽慎一・古田和彦・松浦啓一 (編). 鹿児島県三島村一硫黄島と竹島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市・国立科学博物館, つくば市.
- Hirata, T., T. Yamakawa, A. Iwata, S. Manabe, W. Hiramatsu, and N. Ohnishi. 1996. Fish fauna of Kashiwa-jima Island, Kochi Prefecture, Japan. *Bulletin of Marine Sciences and Fisheries*, 16: 1–177.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- Motomura, H., K. Kuriwa, E. Katayama, H. Senou, G. Ogihara, M. Meguro, M. Matsunuma, Y. Takata, T. Yoshida, M. Yamashita, S. Kimura, H. Endo, K. Hidaka, H. Izumi, and K. Matsuura. 2010. Annotated checklist of marine and estuarine fishes of Yaku-shima Island, Kagoshima, southern Japan, p. 65–248. In H. Motomura and K. Matsuura (eds.). *Fishes of Yaku-shima Island—A World Heritage Island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan*. National Museum of Nature and Science, Tokyo.
- Senou, H., H. Kodato, T. Nomura and K. Yunokawa. 2006. Coastal fishes of Ie-jima Island, the Ryukyu Islands, Okinawa, Japan. *Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science)*, 35: 67–92.
- Senou, H., G. Shinohara, K. Matsuura, K. Furuse, S. Kato and T. Kikuchi. 2002. *Fishes of Hachijo-jima Island, Izu Islands Group, Tokyo, Japan*. *Memoirs of the National Science Museum*, 38: 195–237.
- Smith, D. G. 2012. A checklist of the moray eels of the world (Teleostei: Anguilliformes: Muraenidae). *Zootaxa*, 3474: 1–64.
- Watai, M., Miyazaki, Y. Murase, A. and Senou, H. 2009. Fish fauna of Tokashiku Bay, Tokashiki Island, the Kerama Islands, Okinawa Prefecture. *Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science)*, 38: 119–132.